展望・解説

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
●展望				
将来のエネルギーシステムにおける化学エネルギーの役割	東京大学	笛木　和雄	1-2 (1980)	10
地熱発電の現状と今後の課題	東京工業大学	森　康夫	1-2 (1980)	15
代替燃料としてのアルコールとその経済性	京都大学	鍵谷　勤	1-2 (1980)	23
エネルギー・システムとそのモデル化	東京大学	茅　陽一	1-3 (1980)	18
	(財)電力中央研究所	斎藤　雄志		
エネルギー問題に於けるモデル分析の効果	東京工業大学	高橋　亮一	1-3 (1980)	23
火力発電の現状と将来	(財)電力中央研究所	竹内　元	1-4 (1980)	7
石炭ガス化技術の現状	(株)日立製作所	平戸　瑞穂	1-4 (1980)	15
●解説				
エネルギーの有効利用に関する工学的研究	京都大学	水科　篤郎	1-1 (1980)	75
	〃	荻野　文丸		
小温度差利用による海水淡水化	九州大学	宮武　修	1-4 (1980)	22
地下帯水利用によるエネルギーの長期備蓄について	山形大学	梅宮　弘道	1-4 (1980)	29
	〃	横山　孝男		
	〃	羽賀　恵寿		
日本海型ソフト・エネルギー・パス展開上の諸問題	新潟大学	犬飼　欽也	1-4 (1980)	35
●展望				
原子力発電の現状と将来	東京芝浦電気(株)	大村　達郎	2-2 (1981)	1
電気エネルギーの輸送について	住友電気工業(株)	勝矢　寛雄	2-2 (1981)	6
世界の鉱物資源の現況と将来	山形大学	大町北一郎	2-3 (1981)	1
水力発電の現状と将来	電源開発(株)	山田　昌平	2-3 (1981)	9
	(株)日立製作所	高橋　昭吉		
世界エネルギー予測における政治的・経済的背景	(財)日本エネルギー経済研究所	高垣　節夫	2-4 (1981)	1
新型転換炉開発の現状と展望	動力炉・核燃料開発事業団	澤井　定	2-5 (1981)	1
	〃	小堀　哲雄		
太陽エネルギーの光選択吸収面開発の現状と将来	名古屋工業技術試験所	種村　栄	2-5 (1981)	8
サンシャイン計画(新エネルギー技術開発)の現状と今後の方向	工業技術院	高田　利男	2-6 (1981)	1
エネルギー資源としてのバイオマス	東京工業大学	松田　智	2-6 (1981)	7
	〃	久保田　宏		
●解説				
電気エネルギー需給システムにおけるエネルギー問題	京都大学	上之園親佐	2-2 (1981)	14
省エネルギー診断・分析・対策のためのシステム的手法	大阪府立大学	吉田　総夫	2-2 (1981)	22
	大阪府産業能率研究所	梶原　惇		
	大阪エンジニアリング(株)	中井　孝		
濃度差エネルギーシステムとエンジン(第1報)濃度差エネルギーシステム	東京工業大学	一色　尚次	2-3 (1981)	17
快適な環境と省エネルギー	(財)政策科学研究所	恵　小百合	2-3 (1981)	23
日本における石炭利用の問題点	大阪工業技術試験所	佐野　寛	2-4 (1981)	11
濃度差エネルギーシステムとエンジン(第2報)濃度差エンジン	東京工業大学	一色　尚次	2-4 (1981)	17
新エネルギー総合開発機構(NEDO)について	新エネルギー総合開発機構	島田　仁	2-6 (1981)	15
新エネルギー財団について	新エネルギー財団	橋本　昭一	2-6 (1981)	22
●展望				
地熱開発の現状と展望	新日本製鐵(株)	菅原　晟介	3-1 (1982)	38
西ヨーロッパにおける太陽エネルギー利用の現状と将来				
	オランダ，アィントホーフェン工科大学	C.W.J.van Koppen	3-1 (1982)	44
	(訳)京都大学	鈴木健二郎		
ローカルエネルギー開発の現状と展望	新エネルギー財団	堀　義孝	3-2 (1982)	3

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
水素航空機の展望	全日本空輸(株)	舟津　良行	3-2 (1982)	10
農業における太陽熱利用	京都大学	川村　登	3-3 (1982)	6
将来の化学原料を考える	大阪市立大学	井本　稔	3-3 (1982)	12
日本の長期エネルギー見通し	(財)日本エネルギー経済研究所	富舘　孝夫	3-4 (1982)	5
米国の原子力開発の現状と将来展望	(株)ｱｲ･ｲｰ･ｴｰ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ	西堂紀一郎	3-5 (1982)	6
エネルギーと日本経済	京都大学	森口　親司	3-5 (1982)	11
バイオリアクターの展望	関西大学	福島　達	3-5 (1982)	15
省エネルギー投資の現状と課題	大阪府立産業能率研究所	梶原　惇	3-6 (1982)	6
	大阪府立工業技術研究所	吉田　総夫		
	大阪エンジニアリング(株)	中井　孝		
●解説				
超電導による電力エネルギーの貯蔵	高エネルギー物理学研究所	増田　正美	3-3 (1982)	19
高分子分離膜の進歩と展開	大阪市立工業研究所	西村　正人	3-6 (1982)	12
●展望				
バイオマスエネルギー利用の条件	東京工業大学	久保田　宏	4-2 (1983)	11
	〃	松田　智		
石炭灰再資源化の展望	(株)計測科学研究所	波松　章勝	4-2 (1983)	19
開放型MHD発電の現状と将来	豊橋技術科学大学	大竹　一友	4-3 (1983)	2
世界の食糧資源の現状と将来	東京農業大学	西山　喜一	4-3 (1983)	10
内外の海水淡水化の現状	(株)笹倉機械製作所	森岡　錠一	4-3 (1983)	16
鉱物資源の化学的探査	秋田大学	椎川　誠	4-3 (1983)	22
エネルギー・電力需給の長期展望とその課題	(財)電力中央研究所	梅津　照裕	4-4 (1983)	1
海洋温度差発電の現状	佐賀大学	上原　春男	4-4 (1983)	13
核融合研究の現状と展望(第1部)磁気核融合	京都大学	宇尾　光治	4-4 (1983)	20
核融合研究の現状と展望(第2部)慣性核融合	京都大学	宇尾　光治	4-5 (1983)	1
ウラン鉱業の現状と将来	ニチメン(株)	武中　俊三	4-5 (1983)	6
電気自動車開発の現状と展望	(財)日本電動車輌協会	秋川　豊	4-5 (1983)	15
都市ごみ・汚泥による人工ガス田	工業技術院	佐野　寛	4-6 (1983)	10
	大同特殊鋼(株)	益田　信雄		
●解説				
セラミックスとエネルギー	東京芝浦電気(株)	勝田　実	4-4 (1983)	29
半導体電極・光触媒を用いる太陽エネルギーの化学的変換	分子科学研究所	坂田　忠良	4-4 (1983)	34
エネルギーデータベース実現への途	ｾﾝﾁｭﾘﾘｻｰﾁｾﾝﾀ(株)	竹野　萬雪	4-5 (1983)	22
	〃	中山　博史		
地熱開発のための深部地殻破壊力学	東北大学	阿部　博之	4-6 (1983)	17
	材料強度研究施設	高橋　秀明		
都市ごみ，下水汚泥の混合処理による熱エネルギー有効利用システム	神奈川県公害センター	安田　憲二	4-6 (1983)	25
●展望				
パルスパワー技術の開発とその将来(第1部)核融合	東京大学	上野　勲	5-1 (1984)	16
バイオマス熱利用の現状と将来	岩手大学	清水　浩	5-2 (1984)	1
パルスパワー技術の開発とその将来(第2部)加速器増殖炉	東京大学	上野　勲	5-2 (1984)	7
未来エネルギーへの展望	読売東京理工専門学校	崎川　範行	5-3 (1984)	6
希少金属の資源状況と備蓄の展望	住友金属工業(株)	諏訪　晃	5-3 (1984)	12
我が国のエネルギー需給の長期展望	(財)日本エネルギー経済研究所	生田　豊朗	5-4 (1984)	3
太陽電池技術の現状と将来	シャープ(株)	佐々木　正	5-4 (1984)	11
新材料研究開発の現状と展望	工業技術院	青木　信也	5-5 (1984)	7
農業機械とエネルギー	久保田鉄工(株)	川端　晃	5-5 (1984)	13
我が国におけるエネルギー間競合の現状と今後の課題	(財)日本エネルギー経済研究所	佐川　直人	5-5 (1984)	20

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
新エネルギー時代のヒートポンプ	東京工業大学	一色　尚次	5-6（1984）	13
産業用自家発電の現状と将来	（財）日本エネルギー経済研究所	木船　久雄	5-6（1984）	20
●解説				
企業間エネルギー共同利用の研究	ｾﾝﾁｭﾘｰﾘｻｰﾁｾﾝﾀ（株）	橋爪　泰夫	5-1（1984）	23
マンガン・ノジュールの製錬	山口大学	藤井雄二郎	5-2（1984）	15
燃料電池システムについて	大阪ガス（株）	原田　雅恒	5-2（1984）	22
熱電変換素子の現状	（株）サーモボニック	丸山　哲男	5-3（1984）	18
微生物による合成反応	京都大学	和泉　好計	5-4（1984）	19
	〃	山田　秀明		
金属超微粒子	科学技術庁	宇田　雅広	5-5（1984）	26
●展望				
電池材料の将来展望	三井金属鉱業（株）	宮崎　和英	6-2（1985）	6
	〃	今田　宣之		
	〃	植村　豊秀		
	〃	賀川　恵市		
	〃	西浜　秀樹		
	〃	住田　守正		
	〃	尾上　正治		
FBRの現状と展望	東京大学	近藤　駿介	6-3（1985）	5
公共政策としてのエネルギー政策	京都大学	森口　親司	6-3（1985）	12
海洋資源開発の現状と将来	新技術開発事業団	久良知章悟	6-4（1985）	8
開発途上国のエネルギー問題	システム技術研究所	槌屋　治紀	6-5（1985）	7
'85燃料電池セミナーの概要報告	新エネルギー総合開発機構	伊藤　　登	6-6（1985）	10
●解説				
二次電池電力貯蔵システムのエネルギー分析	大阪工業技術試験所	芦村　進一	6-2（1985）	13
	近畿大学	青山　政利		
流体輸送における所要動力低減技術	山口大学	薄井　洋基	6-2（1985）	20
粉粒オイル・シェール乾留システム	小野田セメント（株）	大西　利夫	6-4（1985）	17
エネルギーシステムの新しい動向	東京大学	茅　　陽一	6-5（1985）	16
●展望				
宇宙利用と資源	電子技術総合研究所	中山　勝矢	7-1（1986）	30
世界の石油資源の展望	日中石油開発（株）	加藤　正和	7-4（1986）	1
核融合の現状と展望	大阪大学	山中千代衛	7-4（1986）	14
完全人工制御型植物工場と展望	三菱電機（株）	中山　繁樹	7-5（1986）	6
東南アフリカにおける鉱物資源の現状	ESCAP	高橋　　清	7-6（1986）	10
●解説				
鉱業における微生物の利用	早稲田大学	原田　種臣	7-1（1986）	36
	旭硝子（株）	国吉　信行		
新しい鉱物・エネルギー資源探査支援ツールについて（Ⅰ）—資源探査Artifical Intelligence—				
	京都大学	菅野　　強	7-2（1986）	11
溶融塩技術の核エネルギーシステムへの応用（1）	石川島播磨重工業（株）	中村　規男	7-2（1986）	21
	東海大学	古川　和男		
分散電源導入に伴う法律問題	（財）電力中央研究所	三辺　夏雄	7-3（1986）	6
新しい鉱物・エネルギー資源探査支援ツールについて（Ⅱ）—資源探査支援新情報知識獲得—				
	京都大学	菅野　　強	7-3（1986）	12
バイオリアクターにおける微生物固定化の評価	大阪工業技術試験所	佐野　　寛	7-3（1986）	20
	〃	本田　　繁		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
溶融塩技術の核エネルギーシステムへの応用(2)	日本原子力研究所	加藤　義夫	7-4 (1986)	25
	三菱電機(株)	山口作太郎		
	石川島播磨重工業(株)	中村　規男		
	東海大学	古川　和男		
低温排熱利用機関およびヒートポンプにおける作動媒体の性能評価の一手法	京都大学	荻野　文丸	7-4 (1986)	32
産業用エネルギー消費の構造的変貌	(財)日本エネルギー経済研究所	木船　久雄	7-5 (1986)	13
地域冷暖房とその将来	早稲田大学	尾島　俊雄	7-5 (1986)	22
省エネルギービル概観	早稲田大学	木村　建一	7-6 (1986)	18
太陽電池の現状と将来展望	(財)電力中央研究所	武田　行弘	7-6 (1986)	27
●展望				
原子力情勢の展望	科学技術庁	石塚　　貢	8-1 (1987)	26
石油情勢の再転換と短・中期展望(1)	(財)日本エネルギー経済研究所	富舘　孝夫	8-1 (1987)	32
核燃料サイクル	科学技術庁	石田　寛人	8-2 (1987)	7
●解説				
確率論的リスク評価―その手法と有用性	東京大学	近藤　駿介	8-1 (1987)	36
海底熱水鉱床とその探査	地質調査所	中尾　征三	8-2 (1987)	15
表面黒化処理と太陽光選択吸収性	名古屋工業技術試験所	松原　弘美	8-2 (1987)	21
	〃	小坂　岑雄		
コージェネレーションシステムの簡易経済性評価法の導出とその応用	大阪大学	朴　　炳植	8-2 (1987)	27
	〃	鈴木　　胖		
●展望・解説				
需要管理と情報通信技術	(財)電力中央研究所	福留　　渥	8-3 (1987)	1
原子力安全評価について	日本原子力研究所	佐藤　一男	8-3 (1987)	7
日本市場に関する原油のネットバック価値計算システムの検討	(財)日本エネルギー経済研究所	小川　芳樹	8-3 (1987)	12
石油情勢の再転換と短・中期展望(2)	(財)日本エネルギー経済研究所	富舘　孝夫	8-4 (1987)	8
レーザ応用の新技術	電子技術総合研究所	佐藤　卓蔵	8-4 (1987)	13
民生用エネルギー需要の特性	埼玉大学	室田　泰弘	8-4 (1987)	19
磁気浮上鉄道　現状と展望	住友電気工業(株)	川嶋　眞生	8-5 (1987)	6
韓国の海洋エネルギー(潮力及び波力)開発状況	韓国科学技術院	安　　熙道	8-5 (1987)	15
高温超電導体の技術的展望	東海大学	太刀川恭治	8-6 (1987)	1
	金属材料技術研究所	戸叶　一正		
自由電子レーザーとその応用	住友電気工業(株)	松原　健夫	8-6 (1987)	6
原子力プラントにおける人工知能の応用	東北大学	北村　正晴	8-6 (1987)	11
超電導コイルによるエネルギー貯蔵	高ｴﾈﾙｷﾞｰ物理学研究所	増田　正美	9-1 (1988)	23
海洋での超ウラン元素の分布と挙動	金沢大学	中西　　孝	9-1 (1988)	29
水素吸蔵合金(利用技術開発の最新の動向)	工学院大学	須田精二郎	9-1 (1988)	37
化石燃料資源の評価と将来展望	石油公団	津村　光信	9-2 (1988)	6
パルスパワー科学技術の開発とその将来(Ⅱ)―液体状態とその電気特性に関するNATO高等専門家会議に参加して―	東京大学	上野　　勲	9-2 (1988)	12
	北海道大学	酒井　洋輔		
人工知能とエネルギーシステム	(財)電力中央研究所	鈴木　道夫	9-3 (1988)	9
レアメタルの備蓄について	金属鉱業事業団	渕村　和次	9-3 (1988)	15
文部省科学研究費による重点領域研究「エネルギー変換と高効率利用」について	京都大学	西川　禕一	9-5 (1988)	10
200V利用について	関西電力(株)	山口眞一郎	9-5 (1988)	18
圧縮空気利用システムとその導入効果	(財)電力中央研究所	内山　洋司	9-5 (1988)	23
	〃	角湯　正剛		
世界経済の転換とエネルギー需給の評価	大阪大学	森口　親司	9-6 (1988)	6

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
欧米の熱供給事業の現状	(株)共石製品技術研究所	橋本　隆昭	10-1 (1989)	18
ニューガラスの将来展望	大阪工業技術試験所	速水　諒三	10-1 (1989)	27
金属資源の歴史と展望—特に金銀銅について—	(社)資源・素材学会	葉賀七三男	10-1 (1989)	32
米国における太陽エネルギー研究開発の動向	電子技術総合研究所	作田　宏一	10-2 (1989)	9
メタグリカルチャー構想	山梨大学	中山　大樹	10-2 (1989)	15
地球深層ガスの現状と今後のわが国の対応	(財)エネルギー総合工学研究所	越川　文雄	10-3 (1989)	7
最近の地域冷暖房システムと今後の動向	東京ガス(株)	岩本　博之	10-3 (1989)	14
リニアモータカーの動向	(株)テクノバ	京谷　好泰	10-4 (1989)	12
高温岩体地熱エネルギーの技術開発	新エネルギー・産業技術総合開発機構	小林　秀男	10-4 (1989)	19
遠赤外線材料とその応用展開	松下電器産業(株)	西野　敦	10-5 (1989)	7
低温核融合の動向	電子技術総合研究所	谷本　充司	10-5 (1989)	14
ケミカルヒートポンプ開発の現状と課題	東京農工大学	亀山　秀雄	10-6 (1989)	10
燃料電池の現状と問題点	名古屋大学	高橋　武彦	10-6 (1989)	19
有機熱媒体の特徴と熱物性	名古屋工業技術試験所	朝比奈　正	10-6 (1989)	26
	〃	小坂　岑雄		
グローバル資源バランステーブル	システム技術研究所	槌屋　治紀	11-1 (1990)	21
水素エネルギーの将来	東京大学	吉田　邦夫	11-2 (1990)	11
太陽熱発電の復権と今後の進路	電子技術総合研究所	澤田　愼治	11-2 (1990)	18
天然ガスパイプラインの現状と技術課題	石油資源開発(株)	江川　堯	11-2 (1990)	25
フロン問題の現状と将来	シャープ(株)	松木　健次	11-3 (1990)	2
スペーステクノロジー	三菱電機(株)	藤田　康毅	11-3 (1990)	8
90年代のエネルギー戦略—原子力をどう考えるか—	東京電力(株)	加納　時男	11-4 (1990)	10
バイオテクノロジーの一断面：生体触媒の改変を設計する	東京工業大学	大島　泰郎	11-4 (1990)	17
地球的な規模での自然エネルギの活用	室蘭工業大学	岸浪　紘機	11-4 (1990)	21
有機質肥料の現状とその研究開発の動向	農林水産省	戸谷　亨	11-5 (1990)	5
スーパーヒートポンプ・エネルギー集積システム研究開発の現状				
	スーパーヒートポンプ・エネルギー集積システム技術研究組合	竹内　元	11-5 (1990)	11
建設進む高速増殖原型炉「もんじゅ」	動力炉・核燃料開発事業団	明比　道夫	11-5 (1990)	18
月における資源	(財)未来工学研究所	稗田　浩雄	11-6 (1990)	5
コージェネレーションの現状と技術開発	大阪ガス(株)	河崎　俊実	11-6 (1990)	11
資源および環境の探査評価における新しい地球物理学アクティビティ(Ⅰ)	京都大学	菅野　強	11-6 (1990)	21
CO_2排出量削減策に見る国際動向	国立環境研究所	西岡　秀三	12-1 (1991)	25
資源および環境の探査評価における新しい地球物理学アクティビティ(Ⅱ)	京都大学	菅野　強	12-1 (1991)	32
コプロセッシング(石油，石炭の共処理)	三井石炭液化(株)	松宮　三郎	12-2 (1991)	6
エネルギー資源としての氷雪	富山大学	対馬　勝年	12-2 (1991)	13
ディーゼル機関の低NO_x化の現状	京都大学	池上　詢	12-3 (1991)	5
パッシブソーラー利用のためのビル用新材料	名古屋工業技術試験所	種村　栄	12-3 (1991)	11
超電導の現状と将来	超電導工学研究所	田中　昭二	12-4 (1991)	10
変貌する電気通信の今後の使命	日本電信電話(株)	川内　武	12-4 (1991)	13
次世代技術における熱問題	筑波大学	成合　英樹	12-5 (1991)	8
	工業技術院機械技術研究所	矢部　彰		
深海底鉱物資源の開発展望	(社)深海底鉱物資源開発協会	馬場　利一	12-5 (1991)	16
ソ連における石油供給力の低下とその影響	(社)ソ連東欧貿易会	村上　隆	12-6 (1991)	1
電力系統におけるAI応用	関西電力(株)	松浦　敏之	13-2 (1992)	5
資源としてのホテイアオイとその有効利用	岡山理科大学	石井　猛	13-2 (1992)	11
試運転段階に入った高速増殖炉「もんじゅ」	動力炉・核燃料開発事業団	小堀　哲雄	13-3 (1992)	10
住まいづくりの課題に対するひとつのアプローチ—「納得工房」の活動について—				
	積水ハウス(株)	福井　佑吉	13-4 (1992)	13
石炭ガス化複合発電の今後の展望	新エネルギー・産業技術総合開発機構	原　昭吾	13-4 (1992)	18

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
海洋エネルギー変換構造体	東海大学	長崎　作治	13-5 (1992)	5
化石燃料全代替のための太陽エネルギー基地所要面積の評定	大阪ガス(株)	佐野　寛	13-6 (1992)	6
	関西電力(株)	太田　修二		
	大阪工業技術試験所	本庄　孝子		
地球環境を考慮した二酸化炭素の原油採取への有効利用システムの研究	東京大学	田中　彰一	13-6 (1992)	11
汚泥の有機肥料化による植物成長促進と二酸化炭素固定化への効果の考察（Ⅰ） 植林への有機肥料効果の期待				
	東京大学	上野　勲	13-6 (1992)	17
	京都大学	小林　達治		
CO_2削減からみた発電プラントの将来展望	(財)電力中央研究所	内山　洋司	14-2 (1993)	6
「しんかい2000」「しんかい6500」による資源探査	海洋科学技術センター	高川　真一	14-2 (1993)	13
農業分野におけるエネルギー消費の現状	京都大学	並河　清	14-3 (1993)	4
汚泥の有機肥料化による植物成長促進と二酸化炭素固定化への効果の考察（Ⅱ） 汚泥の有機肥料化への期待（その1）				
	京都大学	小林　達治	14-3 (1993)	8
	東京大学	上野　勲		
環境保全型パッケージインフラストラクチャー（パッケージプラント施設）の提案				
	(株)東芝・清水建設(株)	地域処理研会	14-3 (1993)	14
ニューサンシャイン計画の総合展開	工業技術院	小林　博行	14-4 (1993)	10
海洋と炭素の循環	東京大学	野崎　義行	14-4 (1993)	17
エネルギー税制の現状と環境税導入の動向	(財)日本エネルギー経済研究所	松尾　直樹	14-5 (1993)	6
極地風力エネルギー基地システム	大阪ガス(株)	佐野　寛	14-6 (1993)	6
	関西電力(株)	太田　修二		
	大阪工業技術試験所	本庄　孝子		
自動車用代替エネルギーの特質について	三菱石油(株)	佐波　義友	15-1 (1994)	24
大型放射光施設Spring-8と利用研究	(財)高輝度光科学研究センター	林田　敏明	15-1 (1994)	31
CWM技術の現状と課題	日揮(株)	橋本　升	15-2 (1994)	7
石油代替エネルギー・資源に関わる技術開発とプロジェクトファインディングその1 中国神木炭の開発・総合有効利用				
	ハイウェイ・トール・システム(株)	竹本　克己	15-2 (1994)	14
高温岩体からの熱抽出	(財)電力中央研究所	堀　義直	15-3 (1994)	1
石油代替エネルギー・資源に関わる技術開発とプロジェクトファインディングその2 オリマルジョンの開発，導入				
	ハイウェイ・トール・システム(株)	竹本　克己	15-3 (1994)	7
核融合とレーザーエネルギー科学	大阪大学	中井　貞雄	15-4 (1994)	6
地球環境への政策対応－異なる技術の位置付け－	サントリー(株)	川口　順子	15-4 (1994)	14
住宅用太陽光発電システムの普及策について	シャープ(株)	富田　孝司	15-4 (1994)	20
未来型二次電池の技術動向	京都大学	竹原善一郎	15-5 (1994)	11
石油代替エネルギー・資源に関わる技術開発とプロジェクトファインディングその3 中低品位炭活用のための改質技術				
	ハイウェイ・トール・システム(株)	竹本　克己	15-5 (1994)	18
石炭流動層燃焼におけるN_2O排出と低減策	新潟大学	清水　忠明	15-6 (1994)	9
資源エネルギーとしての中性子利用	神奈川工科大学	平山　省一	15-6 (1994)	15
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	並木　徹	16-1 (1995)	25
エネルギー分野の単位系	電子技術総合研究所	野崎　健	16-1 (1995)	31
21世紀のエネルギー:トリウムサイクル	京都大学	木村　逸郎	16-2 (1995)	10
資源連関分析—資源多消費社会の分析をめざして—	専修大学	斎藤　雄志	16-2 (1995)	17
二酸化炭素排出削減のためのエネルギー・技術選択—OECD/IEA/ETSAP付属Ⅳ研究の成果から—				
	日本原子力研究所	安川　茂	16-3 (1995)	6
	〃	佐藤　治		
	〃	田所　啓弘		
	〃	本地　章夫		
	〃	梶山　武義		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
熱拡散効果を利用したメタンのカップリング反応	千葉工業大学	山口　達明	16-3 (1995)	16
	石油公団	鈴木　信市		
原子燃料サイクルとその課題	日本原燃(株)	佐々木史郎	16-4 (1995)	19
中国で見た「日本と中国」	三菱重工業(株)	中江　要介	16-4 (1995)	27
化学プロセス用オープンサイクル型ヒートポンプシステムについて	川崎技術士事務所	川崎　成武	16-5 (1995)	5
淡水生シダ植物・アゾラの収集，順化および資源化	大阪府立大学	汐見　信行	16-6 (1995)	9
	〃	鬼頭　俊而		
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	並木　徹	17-1 (1996)	29
アジア諸国のエネルギー問題―経済成長とエネルギー・環境・資金制約―				
	(財)日本エネルギー経済研究所	藤目　和哉	17-3 (1996)	5
米国エネルギー政策の変遷	(財)電力中央研究所	青柳　栄	17-3 (1996)	13
塩素循環システムの構築	物質工学工業技術研究所	河村　光隆	17-4 (1996)	7
新しい核エネルギーと来世紀環境対策について―トリウム溶融塩核エネルギー協働システム―				
	元　東海大学	古川　和男	17-4 (1996)	12
サステイナブル・コミュニティを考える一つの視点	大成建設(株)	並木　裕	17-5 (1996)	7
短時間微小重力環境利用研究について	北海道工業技術研究所	奥谷　猛	17-6 (1996)	4
生分解性プラスチックについて	生命工学工業技術研究所	常盤　豊	17-6 (1996)	12
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	谷口　富裕	18-1 (1997)	18
高温材料の最近の動向	京都大学	大谷　隆一	18-1 (1997)	24
IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change)の動向				
―第2次評価報告書におけるエネルギー分野のCO_2排出制御方策―	東京大学	石谷　久	18-2 (1997)	6
デマンドサイドマネージメントによる効率的なエネルギー使用とその限界について				
	University of California Berkeley	Alan K.Meier	18-3 (1997)	1
	(訳)スタンフォード大学	武田　宣輝		
GDPとエネルギー消費動向から推測した中国のエネルギー需要見通し	京都大学	西山　孝	18-4 (1997)	26
	〃	劉　婕		
プラズマ化学反応利用―環境・エネルギー分野への応用―	東京工業大学	岡崎　健	18-5 (1997)	1
21世紀への産業展開―技術革新のダイナミズムと地球的諸問題―	流通科学大学	弘岡　正明	18-5 (1997)	9
触媒反応による化学エネルギー変換	京都大学	乾　智行	18-6 (1997)	1
高温に予熱された空気を利用する燃焼	大阪大学	香月　正司	18-6 (1997)	7
エネルギー政策の展望	資源エネルギー庁	谷口　富裕	19-1 (1998)	17
長期的視点からの資源問題の行方	京都大学	西山　孝	19-1 (1998)	23
廃棄物処理とダイオキシン問題の現状	立命館大学	平岡　正勝	19-2 (1998)	1
エネルギー負荷平準化対策に関するヨーロッパ調査	摂南大学	鈴木　胖	19-3 (1998)	1
地球温暖化防止京都会議(COP3)以降の日本の石油産業の経営課題				
	(株)三菱総合研究所	藤井　秀昭	19-3 (1998)	6
地球温暖化対策技術と天然ガスパイプラインの展望	芝浦工業大学	平田　賢	19-4 (1998)	14
中国のエネルギー事情と環境問題について	大連省ｴﾈﾙｷﾞｰ教育ｾﾝﾀｰ	山梨　晃一	19-4 (1998)	21
環境ホルモン問題とその取り組みについて	京都大学	伊藤　禎彦	19-5 (1998)	5
エネルギー・環境技術開発制度の新しいあり方	工業技術院	山田　安秀	19-5 (1998)	10
原子力の社会的受容―その歴史的変容とリスク・ベネフィット	(財)政策科学研究所	伊東慶四郎	19-6 (1998)	1
低品位炭を対象とした石炭液化技術（Ⅰ）	神戸大学	松村　哲夫	19-6 (1998)	9
	(株)神戸製鋼所	田村　正明		
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	佐々木宜彦	20-1 (1999)	18
低品位炭を対象とした石炭液化技術（Ⅱ）	神戸大学	松村　哲夫	20-1 (1999)	23
	(株)神戸製鋼所	田村　正明	20-1 (1999)	
ドイツの廃棄物マネージメント（Ⅰ）混合家庭ゴミ処理の動向				
	INFA(廃棄物廃水マネージメント研究所)，鹿島	間宮　尚	20-1 (1999)	30
	LASU	ｸﾗｳｽ ｹﾞﾚﾝﾍﾞｯｸ		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
エネルギー技術開発政策の評価	(株)テクノバ	竹下　寿英	20-2 (1999)	1
家電リサイクル法について	機械情報産業局	宮本　昭彦	20-2 (1999)	9
ドイツの廃棄物マネージメント(Ⅱ)建設混合廃棄物対策の動向	LASU	ｸﾗｳｽ ｹﾞﾚﾝﾍﾞｯｸ	20-2 (1999)	16
	INFA(廃棄物廃水マネージメント研究所),	鹿島　間宮　尚		
核兵器廃絶への道	杏林大学	今井　隆吉	20-3 (1999)	1
環境管理・監査の現状と動向	三菱電機(株)	吉田　敬史	20-3 (1999)	5
環境調和型の設計―グリーンデザインへの試み	東京大学	岩田　修一	20-3 (1999)	11
国際石油情勢とメジャーの動向	(財)日本エネルギー経済研究所	小山　堅	20-4 (1999)	1
ITSに期待される省エネルギー・環境調和効果	(財)自動車走行電子技術協会	藤井　治樹	20-4 (1999)	7
ドイツの廃棄物マネージメント(Ⅲ)―包装材処理の動向	鹿島技術研究所	間宮　尚	20-4 (1999)	12
	LASU	ｸﾗｳｽ ｹﾞﾚﾝﾍﾞｯｸ		
ロシア等における地球温暖化防止事業	新エネルギー・産業技術総合開発機構	久留島守広	20-5 (1999)	7
太陽エネルギーと化石燃料とのハイブリッド利用	東京工業大学	玉浦　裕	20-5 (1999)	12
家電リサイクル技術の現状	三菱電機(株)	平田　郁之	20-6 (1999)	1
海洋深層水の多面的利用-地球温暖化防止への活用-	(株)東芝	渡辺　裕	20-6 (1999)	7
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	藤冨　正晴	21-1 (2000)	16
WE-NET第Ⅱ期研究開発について	工業技術院	増田　勝彦	21-1 (2000)	21
ISO14000の現状	東京大学	石谷　久	21-2 (2000)	1
二酸化炭素削減・処理技術の紹介とその将来性	(財)地球環境産業技術研究機構	多喜田圭二	21-2 (2000)	6
インドネシアのトロピカルピート:そのエネルギー利用の現状	千葉工業大学	西崎　泰	21-2 (2000)	13
	〃	山口　達明		
北東アジアにおける地政学とエネルギー展開(その1)	石油問題コンサルタント	神原　達	21-3 (2000)	6
1999年台湾921集集地震による道路・鉄道・電力関連施設の被害概要	京都大学	家村　浩和	21-4 (2000)	1
北東アジアにおける地政学とエネルギー展開(その2)	石油問題コンサルタント	神原　達	21-4 (2000)	8
鉄道乗車券類のリサイクル	東日本旅客鉄道(株)	奥野　剛司	21-4 (2000)	14
エネルギーセキュリティに関するアンケート調査の集計結果	(財)社会経済生産性本部	横田　雅史	21-6 (2000)	1
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	藤冨　正晴	22-1 (2001)	11
「エネルギー学」の創出について	前 本会会長	三井　恒夫	22-2 (2001)	4
環境マネジメントシステムによる地球環境問題への対応―ISO14001が持つ意義と今後の発展の方向―				
	京都大学	倉田　健児	22-3 (2001)	3
	〃	神田　啓治	22-3 (2001)	3
我が国におけるグリーン電力の役割と展望	東京電力(株)	鷹尾　友行	22-4 (2001)	1
CO_2海洋隔離について	東京工業大学	平井秀一郎	22-4 (2001)	7
暮らしにおけるエネルギー利用に関するアンケート調査・調査結果より				
	(財)社会経済生産性本部	横田　雅史	22-4 (2001)	13
宇宙太陽発電の将来展望	京都大学宙空電波科学研究センター	松本　紘	22-5 (2001)	5
	〃	篠原　真毅		
IT革命とエネルギー需給構造の変化	湘南エコノメトリクス	室田　泰弘	22-5 (2001)	13
エクセルギーの基礎	元千葉工業大学	小川　洋	22-5 (2001)	20
地球環境から見た水・農業の結節点―屎尿の窒素, リン, カリ資源回収の重要性―				
	京都大学	松井　三郎	22-6 (2001)	1
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	広田　博士	23-1 (2002)	10
太陽光による新しい水素製造システム	東北大学	田路　和幸	23-1 (2002)	15
漁業資源と環境変化	(独)水産大学校	村井　武四	23-2 (2002)	3
中央アジアのエネルギー地政学	石油公団	石井　彰	23-3 (2002)	1
エネルギー安全保障概念の構築と施策の体系化	京都大学	入江　一友	23-4 (2002)	1
	〃	神田　啓治		
京都議定書と国内担保措置―地球温暖化対策推進大綱の概要―	前 環境省	石飛　博之	23-5 (2002)	5
地球深部探査船「ちきゅう」	海洋科学技術センター	宮崎　英剛	23-6 (2002)	1

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
大規模太陽光発電システム「ソーラーアーク」— 太陽光発電の動向と将来展望—				
	三洋電機（株）	田中　誠	23-6 (2002)	6
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	広田　博士	24-1 (2003)	13
総合科学技術会議と環境・エネルギー分野研究推進戦略	内閣府総合科学技術会議事務局	宮川　俊彦	24-2 (2003)	1
人口減少とエネルギー・環境問題	内閣府経済社会総合研究所	原田　泰	24-2 (2003)	6
エネルギー技術と触媒	（独）産業技術総合研究所	春田　正毅	24-3 (2003)	1
廃棄物・リサイクル資源の電子取引市場	（株）リサイクルワン	木南　陽介	24-3 (2003)	6
日本版RPS とこれからのビジネスソリューション	東京農工大学	柏木　孝夫	24-4 (2003)	1
恐山ウグイの酸性適応機構	東京工業大学	広瀬　茂久	24-4 (2003)	5
	東京大学	金子　豊二		
電力自由化の基本理念	学習院大学	南部　鶴彦	24-5 (2003)	5
原子力のフロンティア	（財）エネルギー総合工学研究所	秋山　守	24-5 (2003)	8
水素経済は日本の救世主となり得るか	東京大学	吉田　邦夫	24-6 (2003)	1
温熱快適性と省エネルギー	京都大学	鉾井　修一	24-6 (2003)	8
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	塚本　修	25-1 (2004)	14
エネルギー産業の新たな事業展開に関する有識者アンケート調査				
	（財）社会経済生産性本部	横田　雅史	25-1 (2004)	18
エクセルギー評価設計について	大阪ガス（株）	久角　喜徳	25-2 (2004)	1
CO_2冷媒給湯ヒートポンプについて	（財）電力中央研究所	斎川　路之	25-2 (2004)	5
第4世代原子力技術開発	（財）ｴﾈﾙｷﾞｰ総合工学研究所，東京工業大学	松井　一秋	25-3 (2004)	1
これからの教育の方向—エネルギー・環境教育と関連して—	青森大学	江田　稔	25-4 (2004)	1
日本経済団体連合会環境自主行動計画を巡って	慶應義塾大学	山口　光恒	25-4 (2004)	5
わが国のエネルギー政策と需給見通し	（財）地球環境産業技術研究機構	茅　陽一	25-5 (2004)	5
エネルギーキャリアーとしての水素の汎用利用法の開拓	岐阜大学	小澤　由行	25-5 (2004)	10
気候変動枠組みにおける中国の参加問題	立命館大学	周　瑋生	25-6 (2004)	1
省資源で省エネルギーな産業間連携の奨め—コンビナート再生を目指して—				
	（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構	渡邊　裕	25-6 (2004)	7
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	堀尾　容康	26-1 (2005)	15
エネルギー問題に関するVision-Pull型プログラム	東京大学	西尾　茂文	26-1 (2005)	17
新原子力長期計画における核燃料サイクル政策のあり方について	筑波大学	内山　洋司	26-2 (2005)	1
「愛・地球博」で実証運転する新エネルギープラント	（財）2005年日本国際博覧会協会	根本　宏	26-2 (2005)	7
明日を支える資源—シリーズ特集100回を終えて	名城大学	若松　貴英	26-2 (2005)	11
エネルギーの未来を拓く	（財）電力中央研究所	佐藤　太英	26-3 (2005)	1
21世紀技術の展望と開発戦略	東京大学	石井　威望	26-3 (2005)	6
核融合炉は地球を救えるか—開発の現状，課題そして国際政治学—	九州大学	清水昭比古	26-4 (2005)	1
地球シミュレータによる濃度安定化効果の予測	（財）電力中央研究所	丸山　康樹	26-4 (2005)	5
原油の高騰とエネルギーセキュリティー	東京大学	林　良造	26-6 (2005)	1
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	成瀬　茂夫	27-1 (2006)	14
水素の高度利用を核とした持続可能社会への現実的な中間シナリオ	東京工業大学	岡崎　健	27-1 (2006)	16
エネルギー節約は最大の資源・幸福の基礎	（財）若狭湾エネルギー研究センター	新宮　秀夫	27-2 (2006)	1
バイオリファイナリーの現状と将来展望	（財）地球環境産業技術研究機構	沖野　祥平	27-2 (2006)	7
	〃	湯川　英明		
水素社会における燃料電池自動車の効率について－Well to Wheel総合効率の評価－				
	慶應義塾大学	石谷　久	27-3 (2006)	1
廃棄物発電とバイオマスエネルギー利用の現状と課題	（財）エネルギー総合工学研究所	小川紀一郎	27-3 (2006)	6
水素エネルギーシステムの評価と長期的課題	（財）地球環境産業技術研究機構	茅　陽一	27-4 (2006)	1
石炭ガス化複合発電（IGCC）の現状と展望	（株）クリーンコールパワー研究所	長井　輝雄	27-4 (2006)	5
地球温暖化防止にむけた国連CDM理事会の現状と方向	電源開発（株）	藤冨　正晴	27-5 (2006)	2
総合科学技術会議第三期基本計画について：エネルギー分野の推進戦略	筑波大学	内山　洋司	27-6 (2006)	1

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
我が国のエネルギー政策について	経済産業省資源エネルギー庁	中川　純一	28-1 (2007)	15
アジアのエネルギー需給の将来展望	(財)日本エネルギー経済研究所	伊藤　浩吉	28-2 (2007)	1
マイクログリッドシステムの日本の現状と展望	(株)eL-Power Technology	毛利　邦彦	28-2 (2007)	6
原子力政策の課題と対応―原子力立国計画―	経済産業省	柳瀬　唯夫	28-3 (2007)	1
水力発電再評価の重要性とエネルギーの将来展開	環境ジャーナリスト，東海大学	百瀬　敏昭	28-3 (2007)	7
環境・景観デザインのサスティナビリティ	京都大学	門内　輝行	28-4 (2007)	1
バイオ燃料の開発について	東京大学	横山　伸也	28-5 (2007)	10
	〃	佐賀　清崇		
先端技術と産業化を考える―NEDOの研究開発戦略―				
	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構			
	(前(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)	本城　　薫	28-6 (2007)	1
産学連携のための最新MOT(技術経営)の考え方	(株)ﾃｸﾉ・ｲﾝﾃｸﾞﾚｰｼｮﾝ	出川　　通	28-6 (2007)	4
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	寺家　克昌	29-1 (2008)	12
石油生産量の将来予測に関する現状と動向の分析	(独)産業技術総合研究所	森本慎一郎	29-2 (2008)	1
	〃	時松　宏治		
	東京大学	小池　政就		
	〃	茂木　源人		
	〃	安達　　毅		
	〃	鈴木達治郎		
政策への具体化が進む「21世紀環境立国戦略」	環境省	小林　　光	29-3 (2008)	1
IPCC　第四次評価報告書「気候変動2007」	(独)産業技術総合研究所	西尾　匡弘	29-3 (2008)	5
「長期エネルギー需給見通し」について	経済産業省	石崎　　隆	29-4 (2008)	1
エネルギー・温暖化問題と日本の課題	(財)日本エネルギー経済研究所	十市　　勉	29-5 (2008)	6
世界的金融混乱下でのBRICs経済とエネルギー・資源需要	丸紅経済研究所	柴田　明夫	29-6 (2008)	1
海外におけるエネルギー環境教育	京都教育大学	山下　宏文	29-6 (2008)	8
我が国のエネルギー政策について	経済産業省資源エネルギー庁	星野　光明	30-1 (2009)	23
これからの地球温暖化対策について：第一約束期間とポスト京都議定書	筑波大学	内山　洋司	30-2 (2009)	20
オバマ新政権のエネルギー環境政策：グリーン・ニューディールの虚実	(財)電力中央研究所	鈴木達治郎	30-3 (2009)	2
熱電発電技術の現状と将来の展望	(独)産業技術総合研究所	舟橋　良次	30-4 (2009)	1
波力発電の現状と動向	(株)ジャイロダイナミクス	神吉　　博	30-4 (2009)	5
量子ビームテクノロジー研究開発の概要とJ-PARC計画	(独)日本原子力研究開発機構	岡田　漱平	30-5 (2009)	6
我が国クリーンコール政策の新たな展開	経済産業省	國友　宏俊	30-5 (2009)	13
低炭素社会に向けた超電導技術の展望	住友電気工業(株)	佐藤　謙一	30-6 (2009)	1
原子力ルネッサンスと核不拡散―どう克服するか，原子力平和利用における核不拡散問題―				
	日本原子力研究開発機構	久野　祐輔	31-2 (2010)	1
太陽光発電大量導入時の系統対応	東京大学	谷口　治人	31-2 (2010)	6
温暖化対策目標とその対応	(財)地球環境産業技術研究機構	茅　　陽一	31-3 (2010)	1
高レベル放射性廃棄物処分計画の現状	原子力発電環境整備機構	河田東海夫	31-4 (2010)	1
水素エネルギー社会実現に向けた福岡の挑戦	福岡県商工部	田代　裕靖	31-5 (2010)	10
新政権下のエネルギー政策と今後のエネルギー展望	東京工業大学	柏木　孝夫	31-6 (2010)	1
我が国のエネルギー政策について	経済産業省	池田　繭樹	32-1 (2011)	14
核問題とイランの事情	(財)日本エネルギー経済研究所	坂梨　　祥	32-1 (2011)	17
太陽熱発電の動向とアジア地域サンベルト開発	東京工業大学	玉浦　　裕	32-2 (2011)	1
二次電池の現状と展望	京都大学	荒井　　創	32-2 (2011)	5
	〃	内本　喜晴		
	〃	小久見善八		
世界の資源問題と日本の資源確保	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	澤田　賢治	32-3 (2011)	1
地球温暖化対策に関わる国際情勢	(独)国立環境研究所	甲斐沼美紀子	32-3 (2011)	5
工業材料としての高温超電導線材と実用超電導機器	住友電気工業(株)	林　　和彦	32-4 (2011)	5

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
二次電池とグリーンエネルギーシステム	京都大学	小久見善八	32-5 (2011)	11
日本周辺海域に分布する海底熱水鉱床の開発に向けた取り組み状況	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	岡本　信行	32-5 (2011)	16
地球温暖化制御に向けた冷媒管理システムの構築	(公社)日本冷凍空調学会	片倉　百樹	32-6 (2011)	1
中国・インド等新興国における環境エネルギー政策	(株)神戸製鋼所	下里比佐志	32-6 (2011)	6
決断の時	東京大学	吉田　邦夫	33-1 (2012)	15
21世紀のエネルギー安全保障	(財)日本エネルギー経済研究所	田中　伸男	33-2 (2012)	1
自動車・エンジン技術の進化と燃料・エネルギー	京都大学	塩路　昌宏	33-3 (2012)	1
破滅的でも抑圧的でもないエネルギーシステムの実現のために―2011年夏の節電を振り返る―	東京大学	岩船由美子	33-4 (2012)	1
地球における水循環と環境	京都大学	和田英太郎	33-5 (2012)	10
電気自動車用急速充電システムの普及状況や国際標準化の動向	CHAdeMO協議会	青木　浩行	33-6 (2012)	1
「空洞化」と電力問題	(株)ファンクショナル・フルイッド	藤岡　惠子	34-1 (2013)	15
原子力規制委員会の発足と現在の取組	原子力規制庁	森本　英香	34-2 (2013)	1
日本のエネルギー政策の現状と課題	日本エネルギー経済研究所	豊田　正和	34-3 (2013)	1
福島事故を踏まえたシビアアクシデント研究の展望	京都大学	杉本　純	34-4 (2013)	2
固体酸化物形燃料電池の開発動向	東京ガス(株)	石川　直明	34-4 (2013)	7
	〃	小笠原　慶		
次世代エネルギー社会をグローバルな視点で考える	東京工業大学	岡崎　健	34-5 (2013)	6
シェール革命とは何か	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	石井　彰	34-5 (2013)	11
原子力規制委員会の安全基準と課題	東京大学	岡本　孝司	34-6 (2013)	1
バイオ燃料の導入拡大に向けた現状と課題	日伯エタノール(株)	本城　薫	34-6 (2013)	6
深海底のレアアース泥鉱床と日本の資源戦略	東京大学	加藤　泰浩	35-1 (2014)	13
国土を考える	元国土交通省	佐藤　直良	35-2 (2014)	1
地球温暖化を巡る最近の話題―IPCC第5次報告書を受けて―	国立環境研究所	住　明正	35-3 (2014)	1
最近の蓄熱技術	大阪ガス(株)	岸本　章	35-4 (2014)	1
福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取組について	京都大学	山名　元	35-5 (2014)	6
海を耕す―世界初のクロマグロ完全養殖成功―	近畿大学	宮下　盛	35-5 (2014)	11
新たなエネルギー基本計画	地球環境産業技術研究機構	秋元　圭吾	35-5 (2014)	16
省エネルギー建築からネット・ゼロ・エネルギー建築へ	(株)日建設計総合研究所	丹羽　英治	35-6 (2014)	1
エネルギー・資源問題と都市計画・まちづくり…2020年東京オリンピックにどう取り組むのか	(株)蓑原計画事務所	蓑原　敬	35-6 (2014)	6
エネルギーとレジリエンス	東京大学	谷口　武俊	36-1 (2015)	14
水素エネルギーの現状と将来展望	九州大学	佐々木一成	36-1 (2015)	19
北海道の電力系統の展望と課題	北海道大学	北　裕幸	36-2 (2015)	1
農業における省エネルギー	東京大学	芋生　憲司	36-3 (2015)	1
ジェットエンジンの研究開発動向	東京大学	渡辺　紀徳	36-4 (2015)	2
再生可能エネルギーの大量導入がもたらす電気事業の変革	新エネルギー・産業技術総合開発機構	諸住　哲	36-4 (2015)	7
急落する石油価格と石油・ガス市場の展望	日本エネルギー経済研究所	十市　勉	36-5 (2015)	2
未利用熱の有効利用技術と省エネルギー技術の新たな展開	産業技術総合研究所	小原　春彦	36-6 (2015)	1
福島第一原発事故，住民からの報告	福島県立小野高等学校平田校	千葉　茂樹	36-6 (2015)	5
水素燃料電池車MIRAIの紹介と水素と燃料電池車の未来	トヨタ自動車(株)	広瀬　雄彦	37-1 (2016)	17
燃料電池自動車の課題と展望	日産自動車(株)	長谷川卓也	37-1 (2016)	22
わが国の長期エネルギー需給見通し	電力中央研究所	永田　豊	37-2 (2016)	1
パリ協定からのメッセージ	環境省	増田　大美	37-2 (2016)	5
水素社会に向けたSIP「エネルギーキャリア」の取り組み　～東京オリンピック・パラリンピックでの水素タウン実証～	内閣府	村木　茂	37-3 (2016)	1

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
SIP「次世代パワーエレクトロニクス」の取り組み	内閣府	大森　達夫	37-3 (2016)	6
	〃	田中　保宣		
藻類バイオ燃料の開発最前線	バイオインダストリー協会	荒　勝俊	37-4 (2016)	1
省エネからゼロ・エネルギー（ZEB・ZEH）へ	早稲田大学	田辺　新一	37-5 (2016)	10
分子触媒を用いた窒素固定反応の最近の進展	東京大学	田辺　資明	37-6 (2016)	1
	〃	西林　仁昭		
パリ協定とネガティブエミッション技術	エネルギー総合工学研究所	加藤　悦史	38-1 (2017)	16
気候工学（太陽放射管理）研究の最新動向	東京大学	杉山　昌広	38-2 (2017)	1
	海洋研究開発機構	増田　耕一		
有機太陽電池が拓く未来	有機太陽電池研究コンソーシアム	吉川　暹	38-3 (2017)	1
環境負荷低減に寄与するスマートウェルネス住宅普及促進の展望	芝浦工業大学	秋元　孝之	38-4 (2017)	2
全日本 学生フォーミュラ大会について	京都大学	塩路　昌宏	38-4 (2017)	7
エネルギー需要科学の確立―エネルギーマネジメントにおける需要研究	大阪大学	下田　吉之	38-5 (2017)	2
	東京大学	岩船由美子		
	東京工業大学	日高　一義		
	大阪大学	山口　容平		
	〃	松岡　綾子		
	東京大学	八木田克英		
	東京工業大学	錦織　聡一		
	〃	辻本　将晴		
Australian Energy and Resources Policy:An Introduction to the Challenges of a Resource-Rich Country	京都大学	Benjamin C. McLellan	38-5 (2017)	7
一体形ハイブリッド空調システムの開発	ヤンマーエネルギーシステム（株）	奥田　憲弘	38-6 (2017)	1
CO_2直接空気回収技術の研究動向	エネルギー総合工学研究所	石本　祐樹	38-6 (2017)	5
	東京大学	杉山　昌広		
パワーデバイス用材料としてのダイヤモンドの現状と課題	産業技術総合研究所	杢野　由明	38-6 (2017)	10
	〃	梅沢　仁		
我が国のエネルギー政策について	資源エネルギー庁	大石　知広	39-1 (2018)	18
未来の都市鉱山構築に向けた研究開発の在り方	産業技術総合研究所	大木　達也	39-1 (2018)	21
パリ協定の第5条に盛り込まれた「REDDプラス」について	森林総合研究所	平田　泰雅	39-2 (2018)	3
気候変動対策としての「ブルーカーボン」	海上・港湾・航空技術研究所	桑江朝比呂	39-3 (2018)	3
我が国施設園芸の現状と今後の展開	農林水産省	川本　憲一	39-3 (2018)	7
超低炭素社会に向けたイノベーションのための視点～研究戦略・ビジョン策定に関する考察				
	物質・材料研究機構	古山　通久	39-4 (2018)	5
	〃	安久絵里子		
改修型ゼロ・エネルギーハウスの提案と実証評価	早稲田大学	田辺　新一	39-4 (2018)	10
自動運転の現状と将来展望	名古屋大学	二宮　芳樹	39-5 (2018)	9
ESG投資をめぐる世界の動向	CDP Worldwide-Japan	高瀬　香絵	39-5 (2018)	12
電気事業とインフラ産業の将来像（Utility3.0）	東京電力ホールディングス	戸田　直樹	39-6 (2018)	3
船舶の燃料油環境規制と技術的対策の最新動向	日本海事協会	髙﨑　主基	39-6 (2018)	8
	〃	岡本　太郎		
環境関連ファイナンスとエネルギー政策	資源エネルギー庁	三輪田祐子	40-1 (2019)	19
福島第一原子力発電所廃炉の現状と課題	東京大学	鈴木　俊一	40-1 (2019)	23
今後の石炭利用について	新エネルギー・産業技術総合開発機構	在間　信之	40-1 (2019)	28
営農型発電の可能性－農業振興と再生可能エネルギー拡大の両立	東京大学	吉田　好邦	40-2 (2019)	5
中国石炭火力の現状と展望	日本エネルギー経済研究所	井上　洋文	40-2 (2019)	9
商用化がすすむ燃料電池と再生可能エネルギー導入に向けた水電解の特性と応用システム				
	横浜国立大学	光島　重徳	40-3 (2019)	1

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
二酸化炭素の排出量削減と有用化学品への変換	三井化学	藤田　照典	40-3 (2019)	6
	〃	市川真一郎		
自動車用エンジン熱効率向上のための燃焼技術	東京工業大学	小酒　英範	40-4 (2019)	5
IPCC 1.5℃特別報告書概要と含意	地球環境産業技術研究機構	秋元　圭吾	40-4 (2019)	11
	〃	魏　　啓為		
未来のクルマとエネルギー ～モータ／キャパシタ／ワイヤレスへのパラダイムシフト～	東京大学	堀　　洋一	40-5 (2019)	4
次世代自動車，PHVの現状・課題と将来への期待	東京大学	石谷　　久	40-6 (2019)	3
プラスチック資源循環戦略について	環境省	佐川　龍郎	40-6 (2019)	8
科学技術社会論からみた資源・エネルギー問題	東京大学	藤垣　裕子	41-2 (2020)	3
エネルギーシステムの強靱性に向けた気象リスクマネジメント	ウェザーニューズ	安部　大介	41-3 (2020)	3
液化水素による国際水素サプライチェーンの紹介	川崎重工業	新道憲二郎	41-3 (2020)	7
プロシューマ	電力中央研究所	根本　孝七	41-4 (2020)	7
再生可能エネルギー貯蔵の社会実装に向けて	日産自動車	長谷川卓也	41-4 (2020)	12
エネルギー政策に資するモデル相互比較プロジェクト	東京大学	杉山　昌広	41-5 (2020)	3
TCFD勧告とは何でどこに向かっているのか 金融リスクとしての気候変動	CDP Worldwide-Japan	高瀬　香絵	41-5 (2020)	9
地域冷暖房の発展とビジョンについて（熱供給50周年「地域熱供給の長期ビジョン」について）	丸の内熱供給	佐々木邦治	41-6 (2020)	3
持続可能な脱炭素社会に向けて食料システムへの期待	地球環境産業技術研究機構	林　　礼美	41-6 (2020)	8
循環経済ビジョン2020について	経済産業省	横手　広樹	42-1 (2021)	16
新型コロナウィルス感染症流行拡大の電力需要への影響	東京電力ホールディングス	篠田　幸男	42-1 (2021)	21
	〃	中西　良輔		
	〃	竹田　　恒		
2030年再生可能エネルギーの電源構成比率を40%へ ―その達成への道筋と課題の克服―	経済同友会	石村　和彦	42-2 (2021)	3
2050年に向けた世界と日本の原子力展望	日本エネルギー経済研究所	村上　朋子	42-2 (2021)	8
有機薄膜太陽電池の動向と展望	大阪大学	中山　健一	42-3 (2021)	3
大阪府における水素需要拡大に向けた取組み －カーボンニュートラルの実現に向けて－	大阪府	多田　一也	42-4 (2021)	5
未利用バイオマス資源を徹底活用するためのマルチ生産プロセスの提案	東北大学	北川　尚美	42-4 (2021)	10
安定供給を支える電気保安を取り巻く状況悪化への警鐘	早稲田大学	中垣　隆雄	42-5 (2021)	4
日本の石油業界のリスクとチャンス	日本エネルギー経済研究所	加藤　陽平	42-5 (2021)	10
グリーンイノベーション戦略 －成長戦略に向けたイノベーション－	地球環境産業技術研究機構	山地　憲治	42-6 (2021)	3
日本近海のメタンハイドレート開発におけるカーボンニュートラルの達成に向けた課題	石油天然ガス・金属鉱物資源機構	山本　晃司	42-6 (2021)	8
	日本メタンハイドレート調査	阿部　正憲		
	産業技術総合研究所	天満　則夫		
第6次エネルギー基本計画とその後の展望	経済産業省	宇野　雄哉	43-1 (2022)	18
これからの化学品製造	中部大学	藤田　照典	43-1 (2022)	23
	三井化学	市川真一郎		
カーボンニュートラルに向けた太平洋セメントの取り組み	太平洋セメント	星野　清一	43-2 (2022)	3
	〃	平尾　　宙		
	〃	林　康太郎		
	〃	野村　幸治		
	〃	上野　直樹		

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
第6次エネルギー基本計画における再生可能エネルギー導入量についての考察				
	電力中央研究所	朝野　賢司	43-2 (2022)	9
IPCC第6次評価報告書（自然科学的根拠）の概要	東京大学	江守　正多	43-3 (2022)	3
廃棄物･資源循環分野における脱炭素化と循環経済への移行	環境省	山田　浩司	43-3 (2022)	7
小型モジュール炉（SMR）開発の動向と原子力機構における新型炉開発の取組				
	日本原子力研究開発機構	松場　賢一	43-4 (2022)	5
	〃	篠原　正憲		
	〃	豊岡　淳一		
	〃	稲葉　良知		
	〃	角田　淳弥		
マイクロ波が描くカーボンニュートラルの世界　～ C NEUTRAL^{TM} 2050 design ～				
	マイクロ波化学	塚原　保徳	43-4 (2022)	11
エネルギー分野における機械学習・AIの活用	産業技術総合研究所	小澤　暁人	43-4 (2022)	16
	〃	本田　智則		
ウクライナ危機とエネルギー安全保障に関する欧米の動向	日本エネルギー経済研究所	下郡　けい	43-5 (2022)	3
液体水素の活用	前大阪大学	久角　喜徳	43-5 (2022)	8
電力危機と政策的対応	日本エネルギー経済研究所	小笠原潤一	43-6 (2022)	4
台湾洋上風力の政策，発展及び実況分析	工業技術研究院	杜　政勳	43-6 (2022)	9
	〃	何　佳娟		
	〃	連　思婷		
	〃	游　鴻修		
	〃	楊　馬田		
微生物機能を活用する貴金属・レアメタルのリサイクル	大阪公立大学	小西　康裕	44-1 (2023)	14
印刷プロセス太陽電池の進展と展望	兵庫県立大学	伊藤　省吾	44-2 (2023)	3
日本の2050年カーボンニュートラル実現に向けたシナリオ分析	産業技術総合研究所	小澤　暁人	44-2 (2023)	8
	〃	工藤　祐揮		
市場メカニズムを通じた調整力の調達	電力中央研究所	丸山　真弘	44-3 (2023)	3
地中熱利用システムの現状と社会実装に向けて	産業技術総合研究所	冨樫　聡	44-4 (2023)	10
産業分野の熱プロセスにおける脱炭素化に向けた検討				
	新エネルギー・産業技術総合開発機構	増淵　耕平	44-5 (2023)	3
	〃	岡田　満利		
	〃	仁木　栄		
	〃	柳瀬　公紀		
	〃	矢部　彰		
内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）におけるエネルギーイノベーション				
	岐阜大学	浅野　浩志	44-6 (2023)	3
カーボン・クレジット市場の創設について	東京証券取引所	松尾　琢己	44-6 (2023)	8
成長志向型の資源自律経済戦略と今後の資源循環経済政策	経済産業省	田中　将吾	45-1 (2024)	13
鉄鋼業におけるCO_2削減のチャレンジ「製鉄プロセスにおける水素活用」プロジェクトの取り組み				
	神戸製鋼所	吉田　敦彦	45-2 (2024)	4
豪雪地帯における電気自動車普及の課題と対応方策	産業技術総合研究所	櫻井啓一郎	45-2 (2024)	9
コロナ禍後に新フェーズに入ったウラン市場の課題と展望				
	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー	横田恵美理	45-3 (2024)	3
上位・下位が連動する市場主導型ネットワーク運用	東京電力パワーグリッド	小林　直樹	45-4 (2024)	3
	〃	岡本　浩		
	〃	片岡　俊朗		
	送配電システムズ	大野　照男		
都市ガス供給におけるレジリエンスの強化	東京ガスネットワーク	金丸　直子	45-5 (2024)	3
トランジション・ファイナンス動向と今後へ向けて	Climate Bonds Initiative	森下麻衣子	45-5 (2024)	8

題　目	所　属	執筆者	Vol.-No.（発行年）	頁
エネルギーレジリエンス －強靭化の必要性と国際標準化の意義－	日本エネルギー経済研究所	工藤　拓毅	45-6 (2024)	3
大阪・関西万博の概要と脱炭素に関する取り組み	２０２５年日本国際博覧会協会	川島　崇利	45-6 (2024)	8
プラスチック資源循環の促進とその展望	環境省	増田　珠希	46-1 (2025)	14
系統用蓄電池ビジネスの課題と展望 ～健全で持続可能な市場成長を目指して～	三菱総合研究所	杉山　理恩	46-2 (2025)	3
第7次エネルギー基本計画について	経済産業省	小高　篤志	46-3 (2025)	4
カーボンニュートラル社会実現に向けた行動科学の展開とBECC JAPANの取組	住環境計画研究所	平山　翔	46-3 (2025)	9
ブルーカーボンとJブルークレジット®制度の現状と展望	海上・港湾・航空技術研究所	桑江朝比呂	46-4 (2025)	4
宇宙太陽光発電システム開発の現状と展望	宇宙システム開発利用推進機構	柳川　祐輝	46-5 (2025)	3
グリーンマイニングというアプローチ －ビットコインは環境の破壊者か－	アジャイルエナジーX	青山　里輝	46-5 (2025)	8
	〃	立岩　健二		
	早稲田大学	斉藤　賢爾		
	東京電力パワーグリッド	岡本　浩		
次世代自動車およびカーボンニュートラル燃料の導入による日本の運輸部門CO_2排出削減効果の検討	エネルギー総合工学研究所	中島　悠人	46-5 (2025)	13
	〃	濱田　利幸		
	〃	森山　亮		
水素，アンモニアの重要性と課題 －「カーボンニュートラル目標」の実現に向けて－	国際環境経済研究所	塩沢　文朗	46-6 (2025)	5
建築・都市計画・まちづくり・都市デザインにおけるAIとビッグデータの可能性	東京大学	吉村　有司	46-6 (2025)	10
我が国における次世代燃料の導入促進に向けた取組について	経済産業省	東　哲也	47-1 (2026)	15
電力の安定供給の一翼を担う容量市場の現状と今後の展望	電力広域的運営推進機関	木下　大輔	47-2 (2026)	3
日本初 走行中ワイヤレス給電の公道実証実験とインフラを含む温室効果ガス排出量の試算	東京大学	郡司　大輔	47-2 (2026)	8
	〃	清水　修		
	〃	大矢根　蒼		
	〃	花房　一義		
	〃	藤本　博志		
GXをめぐる内外の動向と当面の課題について	経済産業省	伊藤　禎則	47-3 (2026)	3
AI時代のデジタルMRVによる「知の社会実装」とボランタリークレジットの展望	Linkhola	野村　恭子	47-3 (2026)	7
ポスト化石燃料時代に向けたエネルギーレジリエンス	三菱総合研究所	野本　哲也	47-4 (2026)	9
2028年以降に向けた過渡期のウラン市場の課題と展望	日本エヌ・ユー・エス	横田恵美理	47-4 (2026)	14
商用車の水素化と水素大動脈構想	水素バリューチェーン推進協議会	若木　勇記	47-5 (2026)	3
	〃	関澤　好史		
競争・選別の時代のフュージョン発電実証	東京大学	小野　靖	47-5 (2026)	9
LNGバリューチェーンにおけるメタン排出管理の動向	日本エネルギー経済研究所	木原　智士	47-5 (2026)	14